



がっこうだより

枚方市長尾西町2丁目45番1号 TEL050-7102-9176
E-mail nishinagao-e00@city.hirakata.ed.jp
URL https://www.city.hirakata.osaka.jp/soshiki/6-1-0-0-0_2.html

枚方市立西長尾小学校 令和6年 9月6日号

<西長尾小学校のめざす児童像>

1. 心豊かな子ども（自他を大切に
する、思いやりのある子ども）
2. 深く考える子ども（自ら学び、
創造的な思考を持ち、柔軟に行動
できる子ども）
3. 健康な子ども

気づきの中にある「自分のよさ」と「身の周りのよさ」

—— ものの見方や考え方が深まることが成長です

子どもたちは、夏休みにしかできない、様々な経験をしたことと思います。新学期の初めの各学級では、休み期間中の子どもたちの体験をお互いに他人

に伝え紹介するような機会がありました。そこで自身の成長を振り返ることができていれば素晴らしいことだと思っています。ご家庭でも、子ども自身ができるようになったことや、「よさ」に気づいたことなどを、楽しい雑談の中でさりげなく褒めていただくことをお勧めします。

楽しい雑談のためのポイントは右の通りです。これらを意識して、お話を聞いてあげてください。

子ども自身が、自分で自分の成長に気づけるような声かけや問いかけには、コツが必要です。自分の気持ちを話してくれたときに、「じゃあ、なんでそう思ったのかな?」「どんなようすを見てそんな気持ちになったのかな?」など、周りや他者と自分の関係や状況を具体的に思い出せるようにさりげなく聞くことが大切です（根掘り葉掘りとしつこく聞くようにならないように気をつけましょう）。



- ① 子どもの話をさえぎらない。最後まで聞く
- ② 大人が決めたことを強制しない
- ③ 子どもの話を否定しない

また、相手のことを考えながらコミュニケーションを取れるようになるのは、脳の前頭葉が発達する10歳ぐらいからです。感情のコントロールや想像力、論理的な思考も10歳以降に育まれていきます。

したがって、低学年の子どもたちには、先ほど示した問いかけをしても、うまく表現できないことが多いです。そのときは、「また思いだしたら教えてね」と、肯定的にうけとめてあげましょう。低学年では、「最後まで聞いてもらえた」ことが、集団や社会の一員であるという意識と自己肯定感につながります。

人は必ず環境や他者の影響を受けて育ちます。周りから良い影響を受けたことが確認できると、他者や周りに対する感謝の心が芽生えたり、関係する者同士の互いの信頼関係が増したりします。それは、心理的安全性のある場に居ることを意味します。

教室が、児童にとって心理的安全性のある場であるよう、2学期も教職員一同、心を合わせてがんばります。



主体的な学びへの動機付け

—— 「何のために学ぶのか」という問い

子どもが学習へ向かう態度を観察していると、学ぶ意義を自分事とできている場合と、そうでない場合はかなり違います。単元ごとに学ぶ意義（今の学びと自分の将来との結びつき）を理解し、今の学びを意欲にあふれたものとしていくことが肝要です。

日常の授業の中で、学ぶ意義を、子どもたちがしっかり意識できるように、折あるごとに語ってまいります。



こどもサポーターの活動が再開しました —— 褒められて生まれる自信 ——

コミュニティ・
スクールだより

9月3日より、こどもサポーターの活動が再開しました。ゆるーく取り組んでいます。2学期になり、新たな参加希望の方のご連絡もいただいております。活動のできる日だけで結構です。ぜひ、子どもたちを褒めるためにおいでください。登録申込はいつでもできます。学校までご連絡ください。

清掃場所のいたる所で、一生懸命な姿に気づきます。ほかの人のことを考えて、あえて時間をかけてきれいにしている人、あまり目立たないところだけれども、ほこりがたまりやすいからと、靴箱の隅を一生懸命に小さなほうきで掃く人など、見つけるたびに、発揮されている他者意識をほめるのですが、もっとたくさんの目で見取り、その機会を大切にしたいと思っています。教職員も意識して褒めるべきところは褒めているのですが、たくさんの目があればあるほど子どもたちは、より、その価値のよさに気づいてくれると思っています。ぜひ、こどもサポーターに登録いただき、ご協力をお願いいたします。



☆日々の学校の様子は

「枚方市立西長尾小学校ブログ」をごらんください。

☆ 8月のようす

このQRコードからどうぞ →



8月26日 2年生

宿題の提出です。新学期、久々の仲間との再会。夏休みの体験をあちこちで語り合う姿もありました。



8月28日 1年生

外国語活動 みんなが好きなアニメのキャラクターを当てるゲームを重ねる中で、Whoを使ったやりとりや、その意味を自然に身に付けていきます。親父ギャグも相まって、子どもたちはずっと引きつけられていました。



8月28日 6年生

国語

詩を味わいます。

『いま始まる新しいいま』
自分の「読み」を語ります。



8月27日 3年生

夏休みの思い出をスピーチしています。スピーチの後、聞いている人からの質問に答えます。

下は朝の会です。

あいさつのあと、身体を軽く動かします。



8月26日 4年生 始業式後の様子

夏休みに作った新聞を集めていました。

下の写真はグループに分かれて、夏休みの振り返りを共有しているところです。

ビブリオバトルを定期的に行っていたおかげで、自己開示することに慣れている雰囲気伝わってきました。

相手に伝わるように工夫する意識や、そのための言葉のつながり方なども、これからさらに学んでいきます。



8月30日 5年生

非行防止教室 人形劇を通じて様々な非行の場面を共有します。具体的に関わっている当事者の意識に立って考えます。また、その非行がどのような影響を周りに与えるのかについても深く考えていました。

